

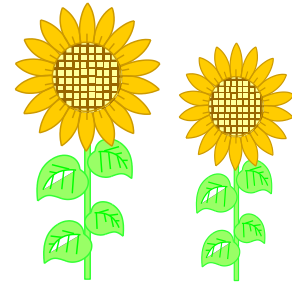
梅雨明けの待たれる今日この頃、早いもので今学期のまなびの教室の指導が終了いたします。

今年は1年生や新規利用の児童が多く、子どもたちだけではなく、保護者の皆様もまなびの教室ってどんなところだろうと不安に感じながらの始まりだったかと思います。保護者会、授業参観への出席、毎週の連絡ファイルへのご協力、ありがとうございます。在籍校、保護者、まなびの教室で引き続き連携を取らせてもらいながら、子どもたちの成長を一緒に応援していきたいと思います。

暑い日が続きますが、体調管理に気を付け、楽しい夏休みをお過ごしください。

二学期の予定（天神小）

- 8月30日（金） 指導開始
- 10月7日（月） 授業参観
- 12月23日（月） 指導終了
- 12月23日（月） 個人面談・午後



<<本の紹介>>

『苦手な「できる」にかわる！発達が気になる子への生活動作の教え方』

中央法規 鴨下賢一編著 立石加奈子・中島そのみ著

「うまくできない」原因はさまざまあります。その子どもに合ったやり方をしていくことで、「うまくできない」が「うまくできる」ようになっていくはずで、この本は、「うまくできない」原因を5つのタイプに分けて説明してあります。活動ごとに発達段階も示してあるので、次の発達に移るために必要な基礎となる発達も知ることができます。また、子どもが生活するにあたって動作や活動が「できる」ようになるための「道具の工夫」もたくさん紹介されています。



『リコーダー』のページでは、下記のように詳しく書かれています。

確認しておきたい動作



- 1 笛やラッパなどが吹けますか。



- 2 両手のこぶしを縦に並べ、片方の小指から一本ずつ開いていきますか。



- 3 逆に片方の小指から一本ずつ閉じていきますか。

日常でできる原因別サポート法

（原因）身体イメージがとらえにくい

まねをすることからイメージを高める。

身体イメージをとらえにくい場合は、指を自由に動かすことが非常に難しくなってきます。例えば、指で狐を作った見本を見てまねしてみるといった、指の形をまねるような遊びをすることで、指のイメージを高めていきます。

